

外来化学療法室

外来化学療法室

室長 田村 厚久

近年、外来での抗がん剤点滴治療が一般的になり、当院でも外来化学療法室（計5床、リクライニングシート4床とベッド1床、午前・午後で1日最大10件）設置後、多くの患者さんが在宅のまま、生活の質を損なうことなく治療を受けることが出来るようになってきている。外来化学療法室にはがん化学療法看護認定看護師など、スタッフが常駐しており、副作用についての説明やきめ細やかなケアを提供、また抗がん剤による急な有害事象にも迅速に対応できる体制が整備されている。

外来化学療法室設置5年目の平成30年度外来無菌薬剤調整件数は969件であり、設置1年目（平成26年）の596件から年々増加している。使用した主なレジメンは以下の通りであるが、最近、免疫治療薬の使用件数が著増している。

呼吸器科レジメン（517件）	件数
Pembrolizumab	212
Nivolumab	82
DOC	78
PEM	56
VNR	39
Atezolizumab	31
CBDCA+PEM	18
CBDCA+nabPTX	13
消化器科レジメン（218件）	
SOX	65
GEM	36
XELOX+A	25
FOLFILI+R	22
Cetuximab	18
PTX+RAM	11
整形外科レジメン（14件）	
Infliximab	14
泌尿器科レジメン（24件）	
Nivolumab	24